

## マイクロンテクノロジー、2014年度第3四半期業績を発表

米アイダホ州ボイシー、2014年6月25日（GLOBE NEWSWIRE） -- マイクロンテクノロジー社（Nasdaq：MU）は本日、2014年5月29日に終了した2014年度第3四半期の業績を発表しました。同四半期における当社の総収益は39億8千万ドルであり、2014年度第2四半期と比較して3パーセント減少し、2013年度第3四半期との比較では72パーセント増加しました。

GAPPベースの利益および1株当たりデータ – GAPP(1) ベースでは、当社株主に帰属する純利益として8億6百万ドル（希薄化後1株当たり0.68ドル）を計上しました。なお、2014年度第2四半期は純利益7億3千1百万ドル（希薄化後1株当たり0.61ドル）、2013年度第3四半期は純利益4千3百万ドル（希薄化後1株当たり0.04ドル）を計上しました。

非GAAPベースの利益および1株当たりデータ – 非GAAP(2) ベースでは、当社株主に帰属する純利益として9億1千3百万ドル（希薄化後1株当たり0.79ドル）を計上しました。なお、2014年第2四半期は純利益9億8千9百万ドル（希薄化後1株当たり0.85ドル）を計上しました。GAAPベースと非GAAPベースの業績の調整については、添付されている財務諸表および補足説明をご覧ください。

2014年度第3四半期におけるDRAMおよびNANDフラッシュ製品の売上高は、2014年度第2四半期に比べてわずかに減少しました。2014年度第3四半期の連結粗利益率は34パーセントで2014年度第2四半期と同じでしたが、これは平均販売価格の下落が製造コストの同程度の低下により実質的に相殺されたことによるものです。

2014年度第3四半期において当社の事業活動から得られたキャッシュフローは14億6千万ドルでした。また、当社では5億7千6百万ドルを設備投資にあてました。同四半期末現在、現金および市場性のある有価証券により48億1千万ドルを保有しています。

マイクロンでは米山岳部夏時間の6月23日（月）午後2時30分にカンファレンスコールを開催し、業績について討議をおこないます。同コール、音声、スライド、その他の事業や財務に関する情報およびガイダンスについては、オンライン<http://investors.micron.com/events.cfm>で視聴で

きます。また、ウェブ放送は同ウェブサイトでは2015年6月23日まで再生できます。同コールの録音音声は電話番号1-404-537-3406または1-855-859-2056（会議番号：56949074）で、山岳部夏時間の6月23日（月）午後5時30分から2014年6月30日（月）午後5時30分まで再生できます。インベスター・リレーションズ関連情報およびその他の最新情報は、ツイッター@MicronTechまたは<https://twitter.com/MicronTech>をご覧ください。

マイクロン テクノロジー社は、先進的な半導体ソリューションを提供する世界的大手企業です。マイクロンは、世界全域での事業活動を通じ、最先端のコンピュータ、コンシューマ、ネットワークワーキング、組み込み製品、モバイル機器などに使用されるDRAM、NANDおよびNORフラッシュメモリ全般、およびその他の革新的メモリ技術、パッケージングソリューション、半導体システムなどを製造・販売しています。マイクロン テクノロジー社の普通株式はNASDAQにてMUのコード名で上場取引されています。マイクロン テクノロジー社に関する情報は[www.micron.com](http://www.micron.com)をご覧ください。

(1) GAAPとは、米国において一般に公正妥当と認められた会計原則のことを表しています。

(2) 非GAAPベースとは、企業の経営陣が業績を分析する際、あるいは収益の傾向を理解する上で、GAAPから特定の事業活動の影響を除外した数値を表しています。また、非GAAPベースには当社が未実施のキャプトコール取引の1株当たり計算に使用される株式への影響が含まれません。GAAPベースと非GAAPベースの業績の調整については、添付されている財務諸表および補足説明をご覧ください。

**MICRON TECHNOLOGY, INC.**  
**CONSOLIDATED FINANCIAL SUMMARY**  
(in millions except per share amounts)

	<b>3rd Qtr.</b>	<b>2nd Qtr.</b>	<b>3rd Qtr.</b>	<b>Nine Months Ended</b>	
	<b>May 29,</b>	<b>Feb. 27,</b>	<b>May 30,</b>	<b>May 29,</b>	<b>May 30,</b>
	<b>2014</b>	<b>2014</b>	<b>2013</b>	<b>2014</b>	<b>2013</b>
Net sales	\$ 3,982	\$ 4,107	\$ 2,318	\$ 12,131	\$ 6,230
Cost of goods sold	2,614	2,704	1,762	8,079	5,091

Gross margin	1,368	1,403	556	4,052	1,139
Selling, general and administrative	174	177	127	527	369
Research and development	349	344	226	1,013	664
Restructure and asset impairments (1)	9	12	55	18	94
Other operating (income) expense, net (2)	(3)	1	(1)	235	(17)
Operating income (loss)	839	869	149	2,259	29
Interest income (expense), net	(75)	(77)	(52)	(248)	(159)
Other non-operating income (expense), net (3)	(21)	(122)	(45)	(223)	(263)
Income tax (provision) benefit (4)	(72)	(63)	1	(215)	(3)
Equity in net income (loss) of equity method investees	135	134	(10)	355	(120)
Net income attributable to noncontrolling interests	--	(10)	--	(33)	(2)
Net income (loss) attributable to Micron	<u>\$ 806</u>	<u>\$ 731</u>	<u>\$ 43</u>	<u>\$ 1,895</u>	<u>\$ (518)</u>

Earnings (loss) per share:

Basic	\$ 0.76	\$ 0.69	\$ 0.04	\$ 1.79	\$ (0.51)
Diluted	0.68	0.61	0.04	1.58	(0.51)

Number of shares used in per share calculations:

Basic	1,067	1,060	1,024	1,058	1,018
Diluted	1,190	1,201	1,047	1,196	1,018

**CONSOLIDATED FINANCIAL SUMMARY, Continued**

	As of		
	May 29, 2014	Feb. 27, 2014	Aug. 29, 2013
Cash and short-term investments	\$ 4,264	\$ 4,504	\$ 3,101
Receivables	2,715	2,826	2,329
Inventories	2,532	2,462	2,649
Current restricted cash (5)	--	--	556
Total current assets	9,705	9,991	8,911
Long-term marketable investments	545	552	499
Property, plant and equipment, net	8,021	7,859	7,626
Total assets	20,495	20,615	19,118
Accounts payable and accrued expenses	2,828	2,679	2,115
Current debt (3)(5)	1,508	2,230	1,585
Total current liabilities	4,760	5,305	4,125
Long-term debt (3)(5)	4,137	4,317	4,452
Total Micron shareholders' equity (3)	9,940	9,284	9,142
Noncontrolling interests in subsidiaries	757	760	864

Total equity	10,697	10,044	10,006
--------------	--------	--------	--------

	Nine Months Ended	
	May 29, 2014	May 30, 2013
Net cash provided by operating activities	\$ 4,352	\$ 1,094
Net cash provided by (used for) investing activities	(923)	(1,170)
Net cash provided by (used for) financing activities	(2,234)	57
Depreciation and amortization	1,680	1,440
Expenditures for property, plant and equipment	(1,518)	(964)
Payments on equipment purchase contracts	(292)	(162)
Repayments of debt	(3,134)	(664)
Proceeds from issuance of debt	1,062	812
Noncash equipment acquisitions on contracts payable and capital leases	294	387

2013年7月31日、当社はエルピーダメモリ株式会社（現マイクロンメモリ ジャパン株式会社、以下「MMJ」といいます。）を買収し、またRexchip Electronics Corporation（現Micron Memory Taiwan Co., Ltd.、以下「MMT」といいます。）に対する持分の89%を現金で取得しました（合計9億4千9百万ドル）。MMJの資産には、広島にある300mm DRAMウエハ製造工場ならびに秋田にある組立および検査施設が含まれます。またMMTの資産には、台中（台湾）にある300mm DRAMウエハ製造工場が含まれます。当社は2014年第2および第3四半期において、MMTの発行済普通株式の10.62%を追加取得しました。

(1) Restructure and asset impairments consisted of the following:

	3rd Qtr. May 29, 2014	2nd Qtr. Feb. 27, 2014	3rd Qtr. May 30, 2013	Nine Months Ended May 29, 2014	Nine Months Ended May 30, 2013
Loss (gain) on impairment of MIT assets	\$ --	\$ (5)	\$ --	\$ (5)	\$ 62
Loss (gain) on impairment of LED assets	(3)	--	25	(6)	29
Loss on restructure of consortium agreement	--	--	26	--	26
Gain on termination of lease to Transform	--	--	--	--	(25)
Other	12	17	4	29	2
	<u>\$ 9</u>	<u>\$ 12</u>	<u>\$ 55</u>	<u>\$ 18</u>	<u>\$ 94</u>

Other restructure for the first nine months of fiscal 2014 included an aggregate of approximately \$30 million associated with the company's efforts to wind down its 200mm operations in Agrate, Italy and Kiryat Gat, Israel.

(2) Other operating expense for the first nine months of fiscal 2014 included a charge in the first quarter of \$233 million to accrue a liability in connection with the company's settlement of all pending litigation between it and Rambus, Inc., including all antitrust and patent matters. The amount accrued represented the discounted value of amounts due under the arrangement.

(3) Other non-operating income (expense) consisted of the following:

	3rd Qtr. May 29, 2014	2nd Qtr. Feb. 27, 2014	3rd Qtr. May 30, 2013	Nine Months Ended May 29, 2014	Nine Months Ended May 30, 2013
Loss on restructure of debt	\$ (16)	\$ (80)	\$ --	\$ (171)	\$ (31)
Gain (loss) from changes in currency exchange rates	(5)	(14)	(45)	(25)	(231)
Adjustment to gain on acquisition of MMJ	--	(33)	--	(33)	--
Other	--	5	--	6	(1)
	<u>\$ (21)</u>	<u>\$ (122)</u>	<u>\$ (45)</u>	<u>\$ (223)</u>	<u>\$ (263)</u>

当社は2014年度の最初の9ヶ月間において、債務の再構成を目的とする一連の財務活動を実施しました。社債の交換、転換、精算、および現金による買戻しを含むこれらの財務活動の結果、当社は2014年度第1四半期に7千5百万ドル、同第2四半期に8千万ドル、同第3四半期に1千6百万ドルの営業外損失を計上しました。

#### 社債の交換

2013年11月、当社は個別の非現金取引により、2027年債、2013年A債、2031年B債の一部（以下、合わせて「交換された社債」といいます。）について、2043年満期、利率3.00%のシニア転換社債（以下「2043年G債」といいます。）と交換しました。当社は2043年G債の発行に関連して、負債6億2千7百万ドル、資本の増加分1億7千3百万ドルを計上しました。この社債の交換により、2014年度第1四半期における当社の債務は帳簿価額で2億8千2百万ドル増加し、資本は2億3千8百万ドル減少しました。また、当社はこの社債の交換（償還として説明されています）に関連して、2014年度第1四半期に合計3千8百万ドルの営業外損失を計上しました。

#### 社債の転換と精算

2027年債 – 2013年11月、当社は残存する2027年債の転換に関する権利について、2013年12月13日をもって終了させることを発表しました。2014年度第1および第2四半期において、2027年債

の事実上すべての所持人が2027年債を転換するオプションを行使しました。当社はそのすべてのケースについて現金により償還をおこなうことを決定しました。また当社は2014年度第2四半期において、残存する2027年債について現金により1億7千9百万ドル分の償還をおこないました。当社はこの償還に関連して、2014年度第2四半期に1千9百万ドル、2014年度の最初の9ヶ月間に4千1百万ドルの営業外損失を計上しました。

2013年A債 – 2013年11月、当社は残存する2031年A債について2013年12月7日に償還する意思を表明しました。2014年度第1および第2四半期において、残存する2031年A債の事実上すべての所持人が同社債を転換するオプションを行使し、当社はそのすべてのケースについて現金により償還をおこなうことを決定しました。2014年度第2四半期、当社は残存する2031年A債について現金により4億4千万ドル分の償還をおこないました。また、当社はこの償還に関連して、2014年度第2四半期に5千万ドル、2014年度の最初の9ヶ月間に6千5百万ドルの営業外損失を計上しました。

2014年債 – 2014年1月、当社は残存する2014年債について2014年3月3日に償還する意思を表明しました。2014年度第2四半期および第3四半期において、残存する2014年債の過半数を保有する所持人が同社債を転換するオプションを行使しました。当社はそのすべてのケースについて現金により償還をおこなうことを決定し、2014年度第3四半期、現金により7億1千8百万分の償還をおこないました。当社はこの償還に関連して、2014年度第3四半期に9百万ドルの営業外損失を計上しました。

#### 現金による社債の買戻し

2014年1月 – 2014年1月、当社は2031年B債、2032年C債、2032年D債のうち総額面金額1億6千4百万ドル分について、相対取引により現金4億7百万ドルで買戻しをおこないました。この買戻しに関連して、当社は2014年度第2四半期に1千1百万ドルの営業外損失を計上しました。

2014年4月および5月 – 2014年4月および5月、当社は2032年C債および2032年D債のうち総額面金額9千9百万ドル分について、相対取引により現金2億5千3百万ドルで買戻しをおこないました。この買戻しに関連して、当社は2014年第3四半期に7百万ドルの営業外損失を計上しました。

2013年度第3四半期およびの最初の9ヶ月間における為替差益（差損）には、当社によるMMJおよびMMTの買収に関連して実行された通貨ヘッジの市場価値の変動による損失が、それぞれ4千7百万ドルおよび2億2千5百万ドル含まれています。

当社はMMJおよびMMTの買収に関連して、純資産26億1百万ドルおよび非支配持分1億6千8百万ドルを計上しました。取得した純資産から非支配持分を差し引いた金額の公正価値が買収価格を上回ったため、当社は2013年度第4四半期に本買収に伴う利益として14億8千4百万ドルを計上しました。2014年第2四半期において、買収日時点での暫定金額のうち主として申立前債務についての調整がおこなわれました。その結果、当社は測定期間における調整額として2014年度第2四半期に3千3百万ドルの営業外費用を計上しました。

(4) Income taxes for the third quarter and first nine months of fiscal 2014 included \$49 million and \$177 million, respectively, related to the utilization of deferred tax assets as a result of MMJ's and MMT's operations. Remaining taxes for the third quarters and first nine months of fiscal 2014 and 2013 primarily reflect taxes on the company's non-U.S. operations. The company has a full valuation allowance for its net deferred tax asset associated with its U.S. operations. The provision (benefit) for taxes on U.S. operations for the third quarters and first nine months of fiscal 2014 and 2013 was substantially offset by changes in the valuation allowance. As of the third quarter of fiscal 2014, the company estimates it will have an increase in unrecognized tax benefits for fiscal 2014 of approximately \$110 million primarily related to transfer pricing matters. This increase is expected to be substantially offset by a change in the company's valuation allowance.

(5) On February 5, 2014, the company issued \$600 million in aggregate principal amount of 5.875% Senior Notes due February 2022 (the "2022 Notes"). Issuance costs for the 2022 Notes totaled \$14 million.

2013年12月20日、当社は2019年1月満期、利率1.258%、総額面金額4億6千2百万ドルの担保付普通社債（以下「2019年債」といいます。）を発行しました。本社債は特定の設備を担保とするものであり、2019年1月15日に満期を迎える予定です。2019年債の元本部分の償還については、2014年7月を第1回として、毎年1月および7月の年2回、合計10回の分割払いによりおこなわれる予定です。2019年債の発行に関連して当社が支払った保証金2千3百万ドルは、2019年債の満期までの間に償却されます。

当社は2014年度第1四半期に、MMJの買収日以降に拘束預金とされていた資金の中からMMJの債権者に対して、第1回分として5億3千4百万ドルの支払をおこないました。

**MICRON TECHNOLOGY, INC.**  
**RECONCILIATION OF GAAP TO NON-GAAP RESULTS**  
(in millions except per share amounts)

	<b>3rd Qtr.</b>	<b>2nd Qtr.</b>
	<b>May 29,</b>	<b>Feb. 27,</b>
	<b>2014</b>	<b>2014</b>
GAAP net income attributable to Micron	\$ 806	\$ 731
Non-GAAP adjustments:		
Flow-through of MMJ inventory step up	--	42
Restructure and asset impairments	9	12
Amortization of debt discount and other costs	36	44
Loss on restructure of debt	16	80
Adjustment to gain on acquisition of MMJ	--	33
(Gain) loss from changes in currency exchange rates	5	14
Estimated tax effects of above items	(8)	(22)
Non-cash taxes from MMJ purchase accounting	49	55
Total non-GAAP adjustments	<u>107</u>	<u>258</u>
Non-GAAP net income attributable to Micron	<u>\$ 913</u>	<u>\$ 989</u>
Number of shares used in diluted per share calculations:		
GAAP	1,190	1,201
Effect of capped calls	<u>(38)</u>	<u>(42)</u>
Non-GAAP	<u>1,152</u>	<u>1,159</u>
Diluted earnings per share:		
GAAP	\$ 0.68	\$ 0.61
Effects of above	<u>0.11</u>	<u>0.24</u>
Non-GAAP	<u>\$ 0.79</u>	<u>\$ 0.85</u>

上記の表はマイクロンに起因する非GAAPベースの純利益、希薄化後の株式数、希薄化後1株当たり利益について記載しています。上記の調整は頻繁におこなわれるものではありませんが、当社の一定期間毎の、または中核ではない活動の結果によるものです。当社は、こうした非GAAPベースの情報が傾向の理解や当社の経営成績および利益の分析の際に重要であると考えています。そのため、投資家の皆様が当社の経営成績を分析する上での一助となりますようにこうした情報を提供しています。当社の経営陣は、業績の評価や当社の経営資源の配分に関する意思決定をおこなう際には、こうした非GAAPベースの情報を利用しています。また、投資家の皆様におかれましても、投資を決定される場合には同様のデータを参考にしていただきたいと思います。

考えております。こうした調整済の数値は米国GAAPに基づく数値とは異なります。従って、他社の報告とは比較できない可能性があります。

当社の経営陣は業績を分析する際、あるいは収益の傾向を理解する上で、以下の様な事象の影響を除外しています。

- MMJの買収の波及効果としての在庫価値の上昇
- 事業再構築および資産価値の減損
- 社債発行差金の償還およびその他の費用（当社の転換社債やエルピーダの債務の分割払いに関連する非現金支払利息の増加等）
- 負債の再構成に伴う損失
- MMJの買収に伴う利益の調整
- 為替（差益）差損
- 上記の各項目から推計される税務上の効果
- MMJの買収に関連する繰越税金資産の利用により生じる現金以外の税金

非GAAPベースの希薄化後株式には、当社の未実施のキャプトコール取引の影響が含まれています。これはGAAPベースによる1株当たり利益の反希薄化に効果があり、当社の転換社債の希薄化効果を軽減することが予想されます。

お問い合わせ先： Kipp A. Bedard

Investor Relations

[kbedard@micron.com](mailto:kbedard@micron.com)

(208) 368-4465

Daniel Francisco

Media Relations

dfrancisco@micron.com

(208) 368-5584